

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者	山岸和美
	全体計画 <input type="checkbox"/> 経費区分 <input type="checkbox"/> 内線	3112
事務事業名	4036 車両管理事業	
所 属	050100 総務部・総務課	
施 策	07024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	020106 総務費・総務管理費・車両管理費
	事業	010000 車両管理事業
事業目的		事業概要・効果
集中管理車両の適正な運行管理を通じて、効率的かつ安全な公務の執行を図る。		集中管理車両の点検整備などの維持管理と、配車計画及び安全運転管理の実施。

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少。 公用車車体への市PR広告を企業等広告と併せて実施する。	事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少 エコドライブの推進
平成29年度 予定	平成30年度 予定
事故防止の啓発及び車両の損傷台数の減少 エコドライブの推進 平成30年度に廃車を予定している車両の更新について研究する	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	車両損傷件数					
算式	実績				単位	台
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標	6件以下	6件以下	6件以下	6件以下	
	実績	4				
指標選定の理由	公用車を適切に使用し、安全運転を行う上での指標となるため。					
最終年度目標の根拠	過去5年間、年間6件～20件超と事故の発生にばらつきがある（平成27年度は10件）。安全運転を推奨しながら、年間6件以下を目標とする。					
指標名						
算式					単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		8,261	9,376
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	36
一般財源		8,261	9,340
人員数(人)	正規職員	2.0	1.8
	嘱託職員	1.0	1.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	14,438.0	12,994.2
	嘱託職員	2,755.0	3,030.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	17,193.0	16,024.7
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		25,454.0	25,400.7

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3,024	燃料費 2,344、修繕料 313、消耗品費 367
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,237	旅費175、手数料(車検、点検)1,314 保険料 251 有料道路通行料 2,653 公課費 187 ほか

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3,852	燃料費 3,032、修繕料 483、消耗品費 337
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,524	旅費300、手数料（車検、点検）1,510 保険料260、有料道路通行料2,500 公課費216 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	業務を円滑に行うために必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	エコドライブ、事故防止の啓発について掲示板及び各車両への掲示を実施	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	エコドライブ、事故防止について引き続き職員に啓発を実施することで成果を上げる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

エコドライブ及び事故防止についてのポイントを簡単に分かり易く職員に届くよう工夫して実施した。事故件数が大幅に削減され平成28年度目標は達成されたが、引き続き事故0件に向け職員に対する啓発を行っていく。

